

## 令和5年度 第3回地域医療対策協議会 協議結果

日時：令和6年3月21日（木） 18:00～18:50

場所：石川県庁行政庁舎11階 1110会議室

### <協議事項：臨床研修病院の实地調査>

- 臨床研修病院の实地調査について、事務局より協議資料1に沿って説明があった。
- 事務局案のとおり承認された。

### <協議事項：令和7年度 臨床研修医の募集定員配分>

- 臨床研修医の募集定員配分について、事務局より協議資料2に沿って説明があった。
- 各構成員より、次のような意見が述べられた。
  - ・金沢医科大学は従事要件がある方がたくさんいる。従事要件があるのに大学病院で研修できないというのは困るので、何とか現状維持、できれば少し増やしてほしい。
  - ・金沢医科大学病院の定員配分を増やすと、その分他の病院の定員を減らすということになる。
  - ・金沢大学と金沢医科大学とこれまで同数で定員配分を行ってきて、少数定員枠の病院も最低2名を配分する必要があることや、過去の実績も考慮して配分されている。
- 事務局案のとおり承認された。

### <協議事項：金沢医科大学における地域枠の設置>

- 金沢医科大学における地域枠の設置について、事務局より協議資料3に沿って説明があった。
- 金沢医科大学より、次のとおり説明があった。
  - ・今まで能登の医療への貢献ができなかった。令和6年能登半島地震では本学の病院も、多分石川県で一番多くの被災患者を受け入れた。地域において総合診療でまずはワンタッチして、統合病院に運ぶ、あるいは金沢医科大学に運ぶというようなことを考えると、10年後20年後の医療のモデルケースになるかもしれないと思っている。
  - ・家庭医を念頭に置いたプライマリーケアを担う総合診療で、病院勤務を将来的に目指すのではなくて、開業等を念頭に置いた総合診療である。義務年限は、病院勤務を念頭に置かずに地域で活躍する形を考えている。
- 各構成員より、次のような意見が述べられた。
  - ・令和7年度は、既に国の臨時定員が決まっていると思う。今は令和8年度の議論がされているので、令和7年度にできるのか心配である。県と国との協議ということになるのかなと思う。
- 事務局案のとおり承認された。

<報告事項：令和6年度 金沢大学医学類特別枠・自治医科大学卒業医師の配置>

- 金沢大学医学類特別枠・自治医科大学卒業医師の配置について、事務局より報告資料1に沿って説明があった。
- 各構成員より、次のような意見が述べられた。
  - ・震災後、ライフラインが不十分なところも残っていることから、派遣された医師のメンタルのケアをしっかりと行っていきたい